

2026 年 8 月 31 日

報道各位

ニューホライズン キャピタル株式会社

日本システムケア株式会社の株式譲渡について

ニューホライズン キャピタル株式会社（本社 東京都港区、代表取締役会長 安東 泰志）が運営するニューホライズン 3 号投資事業有限責任組合（以下総称して「弊社」）は、本日、保有する日本システムケア株式会社（本社 東京都品川区、代表取締役社長 伴 武彦、以下「JSC」）の全株式を、株式会社 JECC（本社 東京都千代田区、代表取締役社長 横尾 英博、以下「JECC」）に譲渡しましたのでお知らせします。

JSC は「IT と環境の融合を図り、人と社会の成長に貢献する企業を目指します。」を企業理念に掲げ、1989 年の創業以来 37 年以上にわたり、環境コンプライアンスに配慮した ITAD 事業（IT Asset Disposition :情報機器資産の処分）と保守サービス付きの中古 PC のレンタル事業（「LCM 事業」）等を提供してまいりました。また、2023 年 9 月に子会社化した株式会社ビー・テック（以下「BTC」）を通じて、顧客の IT 機器導入の立案と運用支援、新品 PC 等のキッティング及び保守サービス等を提供することで、新品機器の導入から中古機器のリユース、リサイクルまで IT 機器利用にかかわるサービスを総合的に展開し、もって、循環型社会の実現に貢献してまいりました。

JSC と JECC は、2024 年 8 月に締結した資本業務提携契約に基づき、両社グループがそれぞれ培ってきた強みを持ち寄り、IT 機器の利活用にかかわる様々なニーズに対応可能な体制構築とシナジー創出のため協業しております。この度、この連携を更に深化させ、JECC グループのもとで ITAD と LCM 事業のバリューチェーン全体にわたるシナジー効果を最大化すべく、弊社が保有する JSC 株式の全部を JECC に譲渡しました。

2020 年 9 月に資本参画してから今日まで、弊社は JSC 経営陣と一丸となって、供給能力と LCM 事業の拡大、BTC の子会社化並びに JECC グループとの資本業務提携の実現などに貢献するとともに、経営体制の強化と従業員の処遇向上等に取り組んでまいりました。IT 機器利用にかかわるサーキュラー・エコノミーを推進する同社事業の発展拡大に寄与したことは、まさに弊社が掲げるパーパス「意義ある投資で新たな地平へ」の実践に資する投資であったと考えております。

JSC 及び BTC が、JECC グループの一員として、社会の負託に応え、更に飛躍されることを心より祈念いたします。

以上

ニューホライズンキャピタル株式会社について

2002 年 2 月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から、2006 年 10 月の会社分割を経て、通算 24 年超の実績（独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額 2,900 億円超）を有する。現在は、ニューホライズンキャピタルとして 6 本目、創業から 10 本目のファンドを運営中。2002 年以来、すべてのファンドの創設時にキーマン（主運用責任者）をつとめてきた安東泰志をはじめとするニューホライズンキャピタルのチームメンバーは、フェニックス・キャピタルにおいて、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ等、また、ニューホライズン 1 号から 4 号ファンドにおいても多数の投資を実行し、開示可能なエクイティー投資先だけで 約 70 社、全体では 120 社超の日本随一の投資実績を有する。

この件に関する問い合わせ先（弊社広報担当）：

インターナショナル・ファイナンシャル・コンサルティング株式会社
竹江、大谷 連絡先：03-5532-8921